

## もみじ谷大吊橋と紅葉のハンターマウンテン

右城 猛

### まえがき

エーザイに勤務する娘婿の堀田朋男君が東京へ転勤になり、墨田区のマンションに引っ越した。10月18日、妻と一緒に泊まり行き、その翌日、和恵が申し込んでおいてくれた「はとパス」の一日ツアーで、栃木県那須塩原市へ紅葉を見に行ってきた。

### もみじ谷大吊橋

もみじ谷大吊橋は、塩原ダム湖に架かったスパン320m(塔間隔)、幅員1.5mの無補剛桁歩道吊橋。総工費5億8千万円をかけて平成11年4月にオープンした。このタイプでは本州一の長さを誇る。

湖面からの高さは約20m。空中散歩しながら塩原温泉の自然を満喫できるというのがこの橋の売り。



ダム湖の右岸には公園があり、家族の絆をイメージしたとされる木の彫刻・オブジェがある。



歩くとかなり横揺れする。年寄りには手摺りをつかまないと歩けないようであった。



展望台からの眺め



橋の上から見た上流の景色。木製のアーチ橋が見える。



本州一の長さを誇るもみじ谷大吊橋

## ハンターマウンテン塩原

ハンターマウンテン塩原（しおばら）は、那須塩原市にある東急不動産系のスキー場。都心から150分というアクセスの良さが売りになっている。

夏季には「ハンターマウンテンゆりパーク」と称し、ゲレンデの斜面を利用して東日本最大規模を公称するユリの花畑を営業している。高原山が紅葉する秋季にもゴンドラの運営を行っている。



標高1,638mの明神岳山頂まで一気に運ぶ6人乗りのロープウェイ。山頂まで約10分。



ロープウェイから見た紅葉



山頂の遊歩道



遊歩道東口から急な坂道を登る。涸沢にも行っている所以足は軽い。



標高1643mの明神岳東峰山頂に到着



明神岳東峰山頂にある関東平野展望台



ゲレンデの上からの眺め。



明神岳東峠山頂からの下り道は紅葉がきれい



ゲレンデの下の紅葉



日光連山展望台

名水の郷・日光おかき工房  
ツアーの最後は日光おかき工房。たくさんのおかきがあり、試食できる。コーヒーも無料で飲めるが、薄くてまずすぎる。  
菓子工場をガラス越しに見学できるようになっていた。製造は自動化されており、工場内にいた人は3人だった。



白樺のようなこの木は「ダケカンバ岳樺」



試食しながら買い物をしているツアー客



日光おかき工場の駐車場。これが有名なはとバス。



1本5万円で販売している15年熟成原酒柏盛



15年熟成原酒柏盛にはとても手が出ないが、ここで製造販売している純米大吟醸「山ぶき」(720ml) 5,100円は一度飲んでみたいものである。

日光おかき工場を出てすぐのところバスガイドの案内があり、車窓から外を見ると「原酒」と書かれた大きな看板が目に入った。「片山酒造株式会社で、1本が20万円の酒を造っているが手に入れるのは難しい」という紹介があった。

インターネットで調べて見ると、片山酒造株式会社は、明治13年創業で資本金1,000万円、従業員10名の小さな清酒製造会社。

日光連山の伏流水を使って、製造直売ならではの無ろ過生原酒など特徴のあるお酒ばかりを造っているようである。

バスガイドが説明していたのは、15年熟成原酒柏盛。常時マイナス5度に保たれた冷凍コンテナに原酒を15年寝かせた最高傑作で、1年間に5本だけ予約限定で製造しているという幻の酒である。720ml入りで販売価格は5万円。1升瓶(1.8l)に換算すると、12万5千円になる。実際にはプレミアムがついて720ml入り1本20万円、1升瓶にすると50万円になるのかも知れない。